



春の優しい暖かさを感じられるこの頃、土器川リバーキーパーズの会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと思います。リバーキーパーズ通信は今回で100回目を迎えることが出来ました。これからも愛すべき「土器川」を暖かく見守って頂けるように、魅力的な紙面作りを目指していきたく思います。今回は、「ヨシ原の再生」についてお知らせします。

キーワード:ヨシ原の再生

○「ヨシ原」解説

主として河川の河口から汽水域上部の砂州等に広がるヨシの群落をヨシ原といいます。ヨシ原は魚類の産卵・発育場所として、また水鳥の摂餌場など、水辺の生物において重要な河川環境として様々な役割を担っています。



河口より1.3km付近

○土器川のヨシ原

河口より1.6kmの蓬莱橋付近は、急激な湾曲河道となっているため、湾曲内岸の右岸側に土砂が堆積した砂州が形成され、この砂州上の全面にヨシ原が繁茂し、オオヨシキリの採餌場やカヤネズミの生息場・繁殖場となっています。

また、河口より1.3kmのJR橋梁付近には、干潟やヨシ原へと形成されたエコトーンが動植物の生育環境となっており、ハクセンシオマネキ、ハマサジ、ハマツナなどの重要種が生息・生育しています。



ヨシ原



ハクセンシオマネキ



ハマサジ

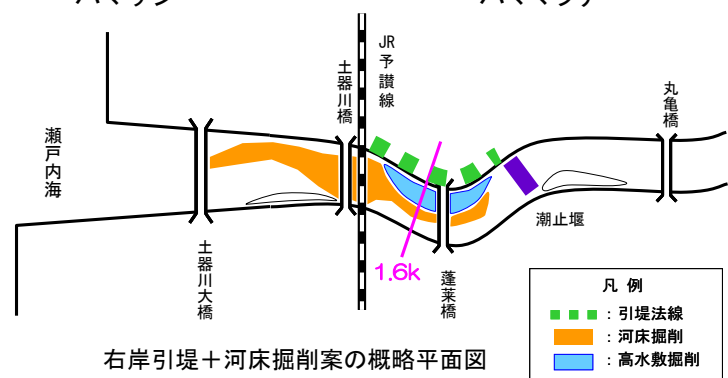


ハマツナ

○下流部湾曲区間の河道掘削

土器川では下流部湾曲区間における流下能力不足の治水対策として、右岸の引堤を行い、河床を掘削するとともに、蓬莱橋を改築する計画をしています。

この治水対策後の水際に、重要な河川環境であるヨシ原が再生出来るように努めるべく、改修方策の工夫や移植などの検討を行いました。

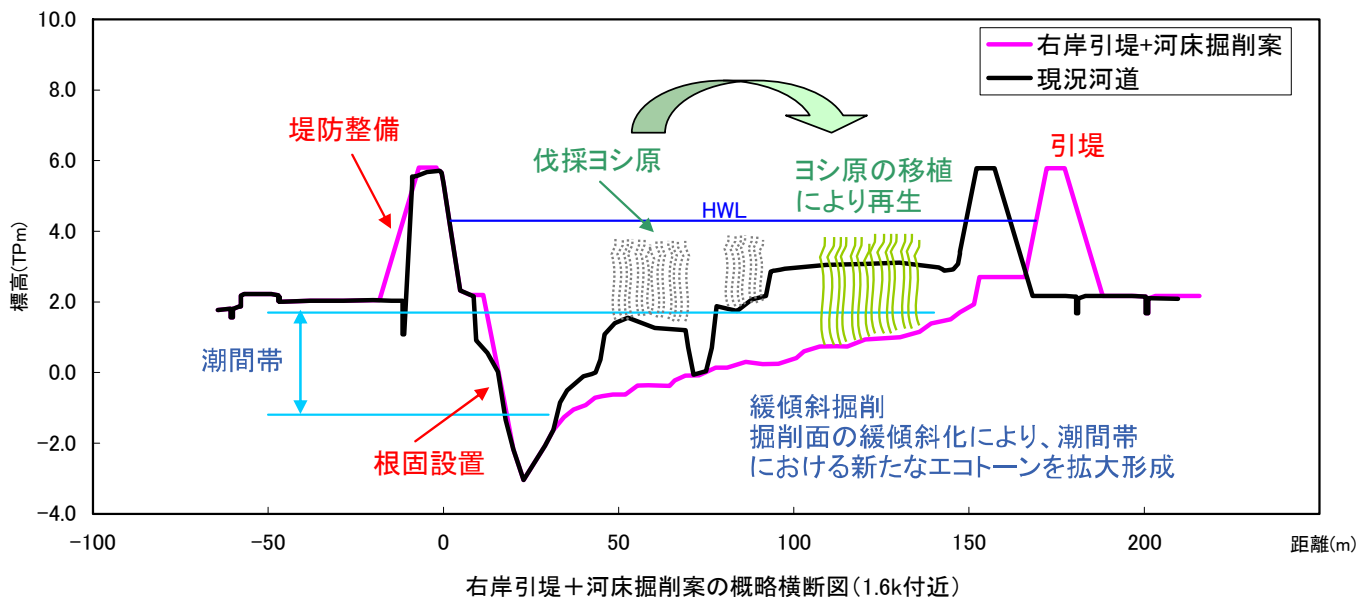


○ヨシ原の移植

現況のヨシ原を治水対策後の水際に移植し、ヨシ原の早期回復（ミチゲーション）を図るとともに、実施にあたっては、土器川河川・溪流環境アドバイザー会議での助言や移植実施前の現地説明会での、アドバイザー・リバーカウンセラーの助言をもとに行いました。（大株法で実施等）

ヨシ原の生育条件

- ・生育地盤高（波浪の影響を考慮）
- ・生育地の勾配（緩やかな勾配を設定）
- ・土壌の条件（現況の土壌を利用）
- ・塩分条件（塩分濃度の計測）
- ・流況（長期的な維持）



○「ミチゲーション」とは

元々、「和らげること、緩和すること」を意味し、環境関連では「環境緩和」と訳されます。開発等により環境への影響が生じる場合に、その影響を未然に防いだり、影響をできるだけ少なくしたり、失われる環境と同じだけの環境を新たに創造するなどの対策を指します。

「人間の活動による生態系機能の損失を無くすこと(No net loss)」を前提として検討される手続きで、以下に示す5段階があります。簡単に、「回避」、「低減」、「代償」の3段階とみなすこともあります。

- 1) 回避：計画の全部あるいは一部中止、計画の見直しや変更等によって環境の影響を避けます。
- 2) 最小化：行為の度合や大きさ・施工を限定することによって影響を最小限に抑えます。
- 3) 修正：影響を受けた環境について、回復・再生・修復するように修正します。
- 4) 低減：行為の期間中、保護・維持作業によって長期にわたる影響を減じ除去します。
- 5) 代償：置き換えや代替資源・環境を提供することによって影響を補償します。

環境を保全するため
学識者の意見を聞いて
いるんだね！



土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。

祝！
100回

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは
国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1623(計画課直通) FAX:087-821-1713

